

学校等再編だより

～子どもたちのより良い教育環境を目指して～

第11号 令和4年10月14日 西伊豆町教育委員会 事務局

先川地区の地盤調査について

認定こども園及び小中一貫校の建設候補地である先川地区の地質調査が終了し、その結果、地盤に関しては地下23m付近から地下37m付近に建物の支持層となる強固な層があることが判明しました。

また、建設候補地付近に先川浄水場があるということで、地下水への影響につきましても調査が行われました。結果は、認定こども園や小中一貫校の園・校舎を建てた場合でも地下水への影響は低いと思われるということでした。加えて、建設の際に杭を打ち込んでも、浄水場の水源の濁りの誘因となる可能性も低いと判断されました。

こうした結果から、地盤に関しては先川地区に認定こども園及び小中一貫校を建設することは可能であると判断しております。今後、西伊豆町立文教施設等整備委員会に諮問し、先川地区が建設にふさわしい場所かどうかを総合的に判断していただく予定です。

西伊豆町立文教施設等整備委員会について

9月27日に令和4年度第1回西伊豆町立文教施設等整備委員会が開催されました。文教施設等整備委員会は、平成26年度から町内の幼稚園と保育園の在り方や小中学校の在り方について協議してきました。最近は、特に認定こども園と小中一貫校について話し合い、文教施設に関する意見集約の機関として大変寄与していただきました。

昨年度1年間開催されませんでしたでしたが、今年度は委員を刷新し、さらに諮問答申機関としてスタートしました。委員会は、各地区の区長代表4名、保護者4名、学識経験者4名、そして園長及び校長3名の15名で構成され、オブザーバーとして、2名の校長も参加しています。

協議の場では、事務局からの説明や質疑応答終了後に、星野町長から委員会に対して、「認定こども園及び小中一貫校の建設場所」について答申の依頼がありました。次回から本格的な話し合いに入る予定です。



【裏面に続く】

小学校先行統合の町の方向性について

文教施設整備に関する保護者懇談会（令和4年2月1日実施）の中で、保護者から「小中一貫校が開校する前に小学校を先行して統合する予定はないか」という質問が出されました。理由として令和4年度の入学児童数が田子小2人、賀茂小3人であり、1人でも多くの人数で学校生活を送らせたいということでした。

そこで、7月25日に保護者を対象に先行統合に関する意見交換会を実施しました。事務局では田子小と賀茂小の2校統合だけでなく、小中一貫校に向けて、仁科小を含めた3校統合も考えるべきと判断し、2校統合に加え3校統合のメリットやデメリットについて説明し、保護者の皆さんからご意見やご質問を受けました。後日アンケートを実施しましたが、結果は下記のとおりです。

さらに、8月30日に行われた文教施設整備事業に伴う説明会では、町長から「津波浸水想定区域内にある仁科小に3校を集めることは避け、多数の保護者が希望しているように、2校で統合して複式学級を1学級でも少なくしたい。そこで、賀茂小を使って田子小と賀茂小の2校統合を進めたい」という方針が示されました。それを受けまして、9月22日に行われた教育委員会定例会で協議された結果、提案された方針が認められました。事務局では、賀茂小を利用した2校先行統合のスムーズな実施に向けて、準備を進めていきます。

☆ 保護者アンケートの結果（令和4年7月26日実施）

Q1 小中一貫校建設前に既存小学校の先行統合を望みますか？

地区	望む	望まない	計
宇久須	31【84%】	6【16%】	37
安良里	14【88%】	2【12%】	16
田子	52【83%】	11【17%】	63
仁科	78【61%】	49【39%】	127
合計	175【72%】	68【28%】	243

※ 田子小・賀茂小学校区では80%以上が先行統合を望み、仁科小学校区では約60%が先行統合を望んでいる。

Q2 Q1で望むと回答した方に統合方法についてお聞きします。

地区	3校を統合	賀小と田小	計
宇久須	9【29%】	22【71%】	31
安良里	6【43%】	8【57%】	14
田子	13【25%】	39【75%】	52
仁科	56【72%】	22【28%】	78
合計	84【48%】	91【52%】	175

※ 田子小・賀茂小学校区では平均すると65%以上が2校統合を、仁科小学校区では70%以上が3校統合を望んでいる。

西伊豆中学校だより

油 断

校長 松本文貴

朝夕はかなり涼しく、しのぎやすくなってきました。台風の影響が心配された体育祭も、無事に終わることができました。今年もご家族のみの参観とさせていただきますが、皆様には熱い声援や温かな拍手を送っていただき心より感謝申し上げます。

生徒たちは、練習の成果を十二分に発揮し、持てる力を出しきり、最高の競技や演技を見せてくれました。体育祭終了後の生徒たちの満足した表情や笑顔がとても印象的でした。夢中で競技に向かう姿、声を限りに応援する姿、そして係の役割に責任を持って臨む姿、どの姿にも成長した生徒たちを感じることができました。まさしく自分たちで創り上げる「体育祭」でした。大きな成果を収め節目の行事が終わりました。行事は学校の「顔」です。さまざまな行事に取り組むことによって自分が成長すると共に、学級や学校が創られていきます。個人と集団が深く関わっていきます。これからも行事を通して、生徒ひとり一人が、そして学校全体が成長していけばと願います。



以前聞いた「油断」という比叡山延暦寺のお話を紹介します。比叡山延暦寺の根本中堂に1200年前からずっと消えずに守られている灯火(ともしび)があります。その灯火を守るために油を途切れないように注ぎ、炎の芯が燃え尽きそうになると新しい芯に代える。そういった営みを1200年の間ずっと続けてきたそうです。では、誰が、どのようにして守り続けてきたのでしょうか。その答えがとても意外で興味深いものでした。係とか役割を決めたら何年かはうまくできるかもしれない。しかし役割を決めた瞬間に誰かの仕事というような甘えの心が芽生えて他人ごとになってしまう。そこに失敗の原因が隠されている。だから比叡山では、誰も役割を持っていないそうです。「気づいた人が油を足し、気づいた人が芯を代える」油が切れたら灯火は消えてしまう。「油断」とは、心の中に怠慢が満ちて、当たり前のことのできないことをさし、この言葉は比叡山の灯火を守ることから生まれた言葉だそうです。

学校生活においては、係活動や委員会、生徒会、部活動などで自分のやるべき仕事が決まっています。またその役割をしっかりと果たしてもらわなければ集団生活は成り立ちません。そのうえで、休んだ人の仕事や気づいたことなど「自分ごと」としてとらえ、お互いが助け合っていけば西伊豆中学校全体がさらに向上していくと信じています。



10月

部活終了 17:00 完全下校 17:10
バス(宮17:29、仁17:39、田・安17:35)

日	曜	給	行事予定
1	土	●	
2	日	●	
3	月	○	5時間授業 部活なし
4	火	○	朝礼 生徒会選挙 SC
5	水	○	給食費口座振替日
6	木	弁	1年ガラス体験 2年職場体験 ssw
7	金	弁	2年職場体験
8	土	●	
9	日	●	
10	月	●	スポーツの日
11	火	○	集金日 SC
12	水	○	
13	木	○	生徒集会 代表委員会 ssw
14	金	○	校内音楽会
15	土	●	
16	日	●	
17	月	○	専門委員会(後期)
18	火	○	SC
19	水	○	読み聞かせ②
20	木	○	
21	金	○	漢字検定
22	土	●	
23	日	●	
24	月	○	
25	火	○	
26	水	○	
27	木	○	ssw
28	金	弁	西豆音楽会(松崎中)
29	土	●	
30	日	●	
31	月	○	

11月

部活終了 16:00 完全下校 16:10
バス(宮16:34、仁16:29、田・安16:35)

日	曜	給	行事予定
1	火	○	朝礼 SC
2	水	○	
3	木	●	文化の日
4	金	○	
5	土	●	
6	日	●	
7	月	○	避難訓練(火災) 給食費口座振替日
8	火	○	生徒集会 SC
9	水	×	B日課 給食なし 午前授業
10	木	○	参観日・懇談会 集金日 ssw
11	金	○	
12	土	●	
13	日	●	
14	月	○	
15	火	○	SC
16	水	○	進路講話 代表委員会
17	木	○	ssw
18	金	○	生徒総会(後期)
19	土	●	部活なし(21まで)
20	日	●	
21	月	○	B日課清掃なし
22	火	○	期末テスト 専門委員会 SC
23	水	●	勤労感謝の日
24	木	○	ssw
25	金	×	B日課 給食なし 午前授業
26	土	●	
27	日	●	
28	月	○	
29	火	○	SC
30	水	○	学調3年

部活動の結果

賀茂地区ヨネックスカップソフトテニス大会
【男子】 船津・高橋組 第3位 東部大会出場
佐々木・山本真組 ベスト8 東部大会出場



応援ありがとうございました

西豆音楽会について

10月28日に予定されていた西豆音楽会は、新型コロナウイルス感染拡大予防等のため中止としました。ご了承ください。

10月14日(金)の校内音楽発表会は、予定通り実施します。参観は、ご家族のみとなります。お願いします。

校歌について

生徒会が中心となり、PTAや町教委等の協力により進めてきた「西伊豆中学校校歌」が完成しました。10月14日校内音楽発表会の日に、作詞作曲をしてくださった谷本様をお招きし、全校で校歌斉唱を予定しています。



西伊豆町電子申請サービスのご紹介

「西伊豆町電子申請サービス」とは、パソコンやスマートフォンを使って、西伊豆町への申請、届出などの行政手続などをオンラインで行えることができるサービスです。

町では、社会全体でデジタル化が急速に進み、様々な場面でオンラインサービスが普及している中、行政手続についてもオンライン化を進めていきます。

10月17日（月曜日）より、住民票の写しや税証明などの各種証明書が、オンラインで申請できるようになります。

申請は、スマートフォンやパソコンから、マイナンバーカードを利用して本人確認を行い、クレジットカードで手数料を支払うことで、役場に行かなくても証明書が取得できます。

申請のあった証明書は、支払完了後に郵送いたします。

○新たに申請を開始する手続の一覧

証明書の種類	対象者	マイナンバーカード (※1)	クレジット決済 (※2)
住民票の写し	西伊豆町に住民登録がある人	○	○
所得証明書	該年度の1月1日に西伊豆町に住民登録がある人 ※ 所得税・住民税の申告が済んでいる人	○	○
所得課税証明書		○	○
課税証明書		○	○
非課税証明書		○	○
納税証明書	当該年度に西伊豆町に税金を納付した人	○	○
土地・家屋評価証明書	西伊豆町に土地又は家屋をお持ちの人	○	○
土地・家屋公課証明書		○	○
納税通知書の送付先変更届	転居などにより書類の送付先を変更する人	—	—
家屋減失申告書	所有する家屋などを減失した人	—	—

※1 申請者のマイナンバーカードによる本人確認が必要になります。また、申請者本人の証明書のみ申請いただくことができます。

※2 クレジットカードによる支払い（決済）が必要になります。
・発行手数料のほかに、郵送に係る費用をご負担いただきます。

西伊豆町電子申請サービスの詳細は、
西伊豆町ホームページでご確認ください。 ホームページはこちら→

うら面もあります



○既に電子申請で受付している手続の一覧

No.	手続の名称	内容
1	公文書開示請求	西伊豆町の公文書の閲覧などを請求する場合の申請です。
2	水道使用開始届	水道の使用開始の届出です。
3	水道使用中止届	水道の使用中止の届出です。
4	犬の死亡届	飼い犬が亡くなった際に提出する届出です。
5	犬の登録内容の変更届	犬の飼育場所の変更、飼い主の住所や氏名の変更、または譲受などにより飼い主が変更になった場合の届出です。
6	空き家バンク物件情報受付	町内にある空き家物件の売却、賃貸などを希望する所有者の方から、町の空き家バンクに物件を登録いただく申請です。
7	観光パンフレット郵送請求	西伊豆町の観光パンフレットを郵送で送付いたします。(町外者向け)
8	エキストラ登録申請	登録された方に映画・ドラマの撮影に関する情報を配信し、出演希望者を制作会社などに紹介します。
9	出張元気アップセミナー開催申込み	趣味サークル、仲良し会、地域の会などにお伺いし健康に関するお話しをさせていただきます。
10	トレーニングマシン体験会の参加申込	トレーニングマシン体験会への参加申込みができます。
11	トレーニングマシン自主トレーニング	トレーニングマシンが設置されているトレーニングルームを予約するための申請です。
12	道路不具合箇所への通報	道路の穴ぼこなど破損している箇所を役場に報告できます。
13	ふるさと通信会員入会申込	会員登録すると「広報にしいず」を毎月お届けします。(町外者向け)
14	ホームページバナー広告掲載申込	町ホームページのトップページに掲載するバナー広告を募集するものです。
15	ライブカメラ閲覧状況アンケート	町が設置しているライブカメラの利用状況を確認するためのアンケートです。
16	行政相談所予約受付	行政相談所を利用する場合に事前予約ができます。
17	特設人権相談所予約受付	特設人権相談所を利用する場合に事前予約ができます。
18	「新型コロナウイルス自己検査用抗原定性検査キット」配付申込	若年層の方に検査用キットを無料配付します。

※ 手続きの電子申請を進めますので、随時電子申請できる手続きを追加いたします。

【問合せ先】

西伊豆町 総務課 情報管理係

電話番号 0558-52-1963

おもて面もあります

養成講座

大規模災害時に必要！

災害ボランティア Volunteer Coordinator コーディネーター

予想される南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害発生時、被災地の復旧・復興のためにはボランティアの力が必要です。このボランティアの活動が円滑に行われるためには、ボランティアの受け入れや活動先の調整など中核的な役割を担う「災害ボランティアコーディネーター」の存在が不可欠になります。今回は、その調整役の災害ボランティアコーディネーター養成講座を実施します。

回覧

講習終了者には
静岡県ふじのくに
災害ボランティア
コーディネーターの
知事認証が発行
されます。

受講生募集！

2022年11月

19日(土) 20日(日) 2日間

各日 AM 9:00 ~ PM 4:00 (受付 AM 8:30)

場所：下田総合庁舎 2階第3会議室

募集定員：30名 (2日間出席できる人)

参加費：無料 申込み締切り 10月31日(月)

※駐車場が少ない為、なるべく公共交通機関をご利用下さい

お問い合わせ
お申し込み

賀茂地区各市町社会福祉協議会

下田市社会福祉協議会：0558-22-3294

河津町社会福祉協議会：0558-34-1286

松崎町社会福祉協議会：0558-42-2246

東伊豆町社会福祉協議会：0557-22-1294

南伊豆町社会福祉協議会：0558-62-3156

西伊豆町社会福祉協議会：0558-55-1313

主催：NPO法人 賀茂災害ボランティアコーディネートの会

共催：賀茂地区各市町社会福祉協議会、賀茂地区各市町

工事のお知らせ（月の浦避難路）

回覧

日頃より、町の防災行政にご協力をいただき深く感謝しております。
町では、月の浦地区避難路の老朽化した手摺の整備工事を行うことになりました。

工事期間中は「**作業時通行止**」にて施工いたします。

作業時以外は通行できますが、手摺が撤去されておりますので、注意してください。

なお、月の浦上バス停付近の施行箇所は、利用者が多いため、常時通行出来るよう、通行スペースを確保しておりますので、注意して通行してください。

騒音、振動、交通規制等でご迷惑やご不便をおかけいたしますが、皆様の深い御理解と御協力をお願いします。

記

1. 工事箇所：田子 月の浦地内（詳細については下図を参照して下さい。）
2. 工事期間：**令和4年10月20日（木）～令和4年12月15日（木）**
3. 作業時間：**8時00分～17時00分**
4. お問い合わせ先：

発注者	西伊豆町役場 防災課	TEL 0558-52-1965
施工業者	白川組	TEL 0558-53-0141



宇久須財産区だより (第8号)

(令和4年10月15日)
発行者 宇久須財産区議会

9月定例会について

令和4年9月20日、宇久須財産区議会定例会があり、令和3年度の決算認定が行われました。

◎令和3年度の決算状況

歳入額は1,402万4005円、歳出額は1,242万6,515円、差し引き残額は159万7,490円となっております。主なものは次のとおりです。

- 町道大沢里線舗装改修工事 709万5000円
- 林道柴線法面改修工事に伴う測量設計 275万円
- ヒノキ食害等対策 55万3700円
 - ・免許取得・更新費助成金 4万1700円
(免許取得 3名 全額補助)
 - ・くくりわな購入費助成金 24万3200円
(5名 2/3補助)
 - ・狩猟用備品購入費助成金 26万8800円
(わな用無線機等 7名 2/3補助)

その他の情報

- 林道寺澤洞線開設工事

今年度から8年間かけて実施され、県道伊東西伊豆線とつながる道ができます。

- ・工事費 4億円
- ・延長 2km
- ・幅 4m

○狩猟免許試験日程 令和5年2月19日(日) 沼津市
予算は十分ありますので、受験してみてください。
詳細については、役場産業建設課までお問い合わせください。

○賃貸借契約

- ・場所 旧花き団地の一部(2,100㎡)
- ・目的 養鶏
- ・賃借料 年間6,300円
- ・賃借人 酒井宏治(地域おこし協力隊)



(舗装された町道大沢里線 大久須地内)

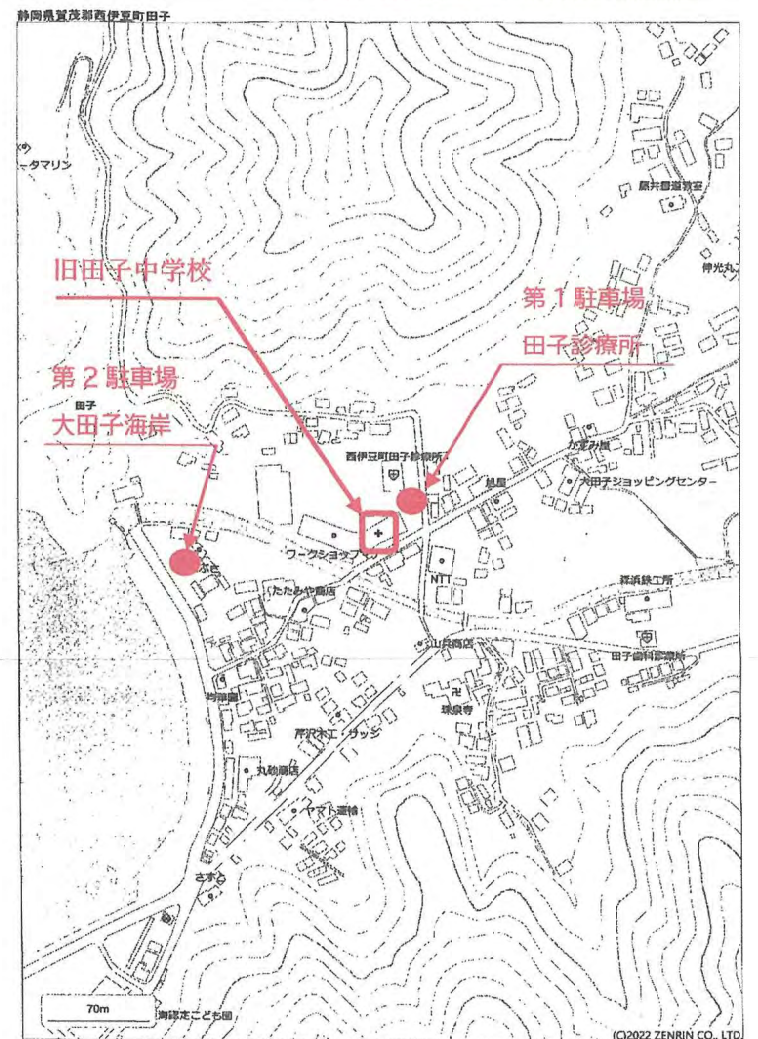
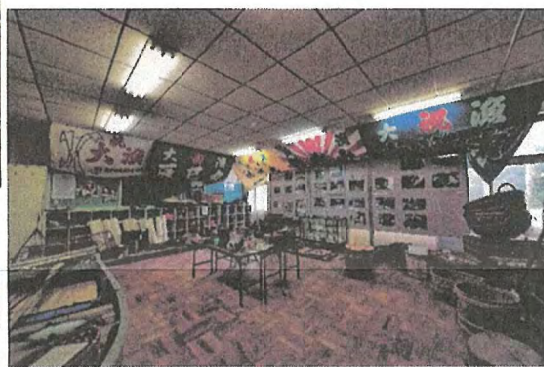
西伊豆町民俗文化財等見学会の開催について

この度、西伊豆町文化財保護審議会の主催において、下記のとおり民俗文化財等見学会を開催することとなりました。

昔、使用していた漁具・農具及び民具等に興味のある方は是非ご来場ください。

記

- 1. 日 時 令和4年11月5日(土)、6日(日)
午前9時から午後4時まで
- 2. 開催場所 旧田子中学校校舎2階
- 3. 展示物 漁具、農具、民具等
- 4. 駐 車 場 田子診療所・大田子海岸



主催：西伊豆町文化財保護審議会・西伊豆町教育委員会
電話：0558-56-0212

西伊豆町教育だより

令和4年10月14日

「令和4年度全国学力・学習状況調査」に見られる町の子供の様子 西伊豆町教育委員会

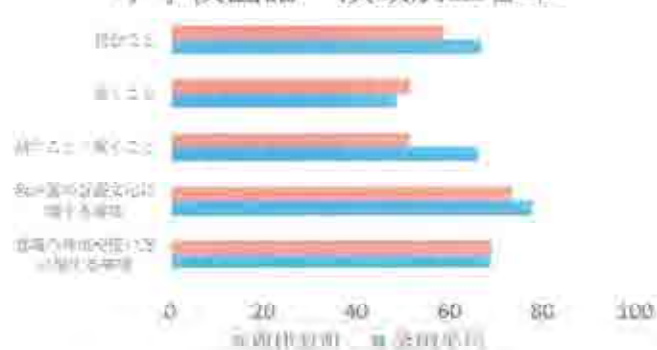
1 調査の概要

- (1) 目的
 - ・児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し改善を図る。
 - ・本調査の結果を教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (2) 実施日 令和4年4月19日(火)
- (3) 実施対象 町内全ての小学校6年生と中学校3年生
- (4) 調査内容 ア 教科調査(国語、算数・数学、理科) イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査結果

小学校国語 領域別正答率

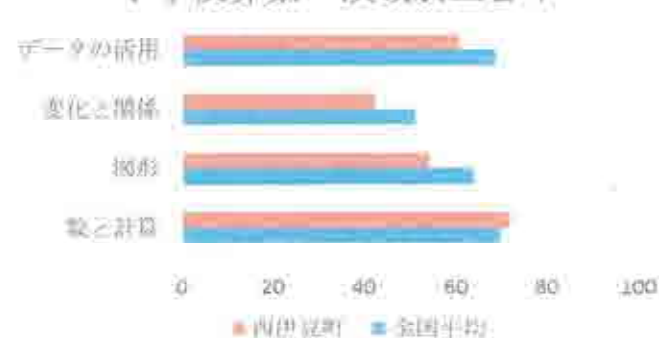


中学校国語 領域別正答率

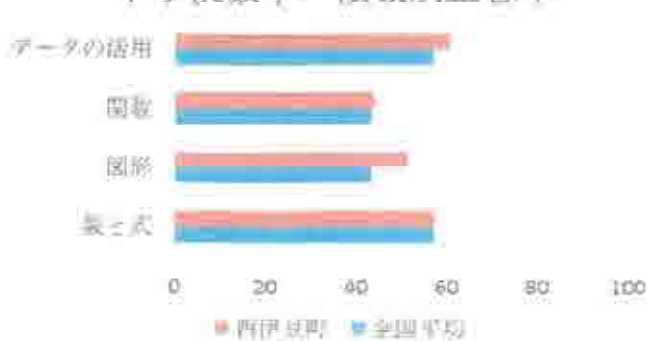


国語	よいところ	がんばりたいところ
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・文章全体の構成や書き表し方などに着目し文を整える ・漢字を文の中で正しく使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の相互関係について、描写をもとに考える ・互いの立場や意図を明確にしながら話し合い、自分の考えをまとめる ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈する ・自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す ・表現の技法について理解する ・漢字の行書の読みやすい書き方について理解する

小学校算数 領域別正答率

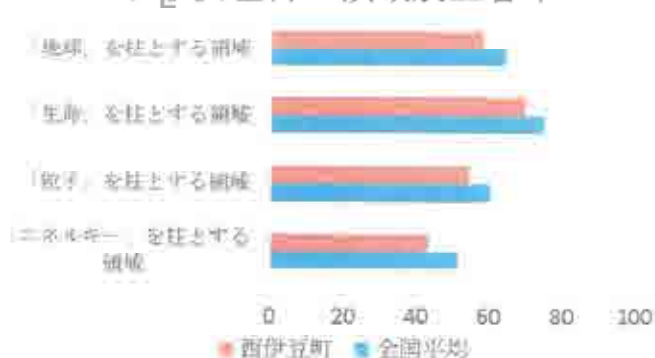


中学校数学 領域別正答率

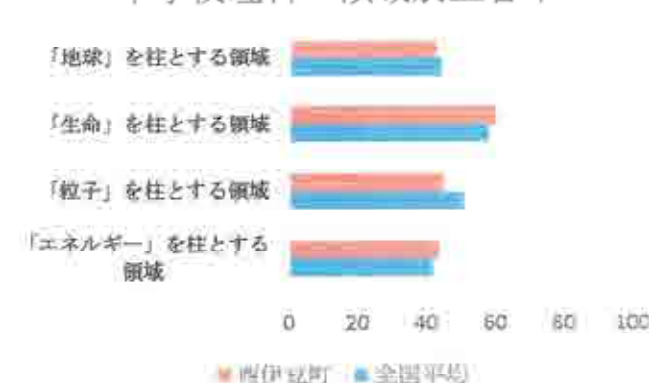


算数数学	よいところ	がんばりたいところ
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・全体と部分の関係に着目してある項目に当たる数を求める ・目的に合った数の処理の仕方を考察する 	<ul style="list-style-type: none"> ・分類整理されたデータを基に目的に応じてデータの特徴を捉え考察する ・百分率で表された割合を分数で表す ・示されたプログラムから正三角形の構成について考察し記述する
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・データのばらつき具合を示すグラフから分布の特徴を読み取る ・ある予想がいつでも成り立つかどうかを示す反例を理解する ・目的に応じて式を変形したり読み取ったりして事柄が成り立つ理由を説明する 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的に解釈し問題解決の方法を説明する ・自然数を素数の積で表す

小学校理科 領域別正答率



中学校理科 領域別正答率



理科	よいところ	がんばりたいところ
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・一定量の液体の体積を適切にはかる器具を理解する ・昆虫の体のつくりを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・日光が直達する性質を利用し鏡を操作しながら効果的に実験する ・予想と結果を基にして、まとめを検討・改善し自分の考えをもつ ・観察結果を他者の気付きの視点で分析・解釈し自分の考えをもつ
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し説明する ・観察結果と調べたことを関連付け動物の体のつくりと働きを分析・解釈する 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験結果が考察の根拠として十分を検討し、実験の計画を改善する ・飛行機雲を採る場面での観測データを考察した他者の考えを検討し改善する

(2) 児童・生徒質問紙調査結果

今年度は、児童・生徒質問紙調査の結果と各教科の正答率に注目してみました。小中学校ともに顕著な結果が出ているものを取り上げました。

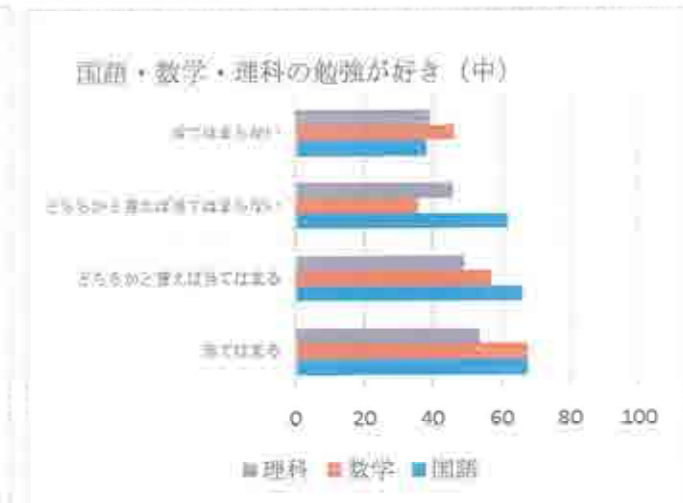
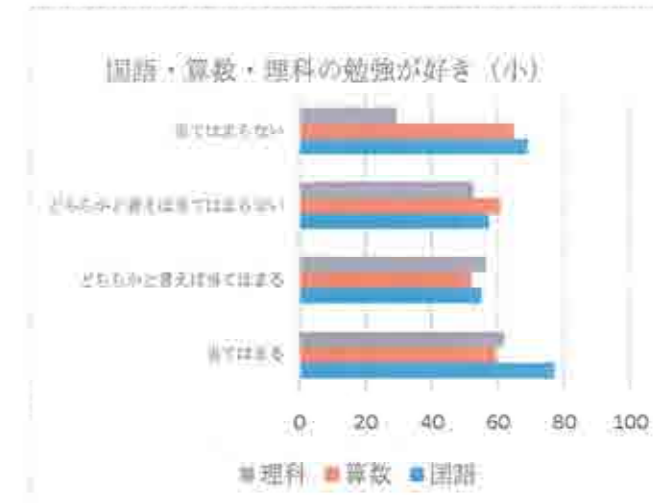
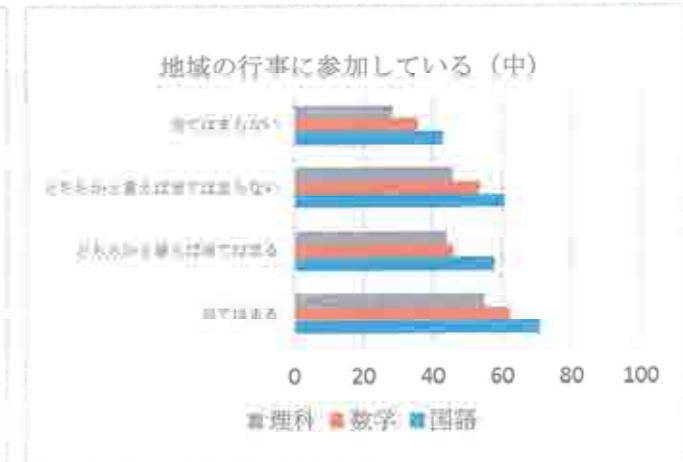
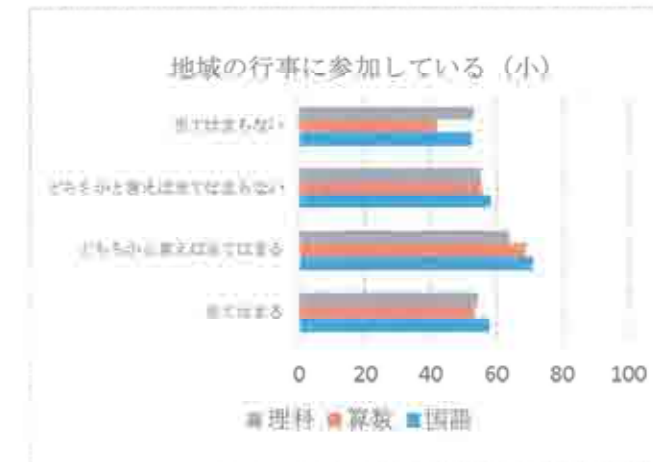
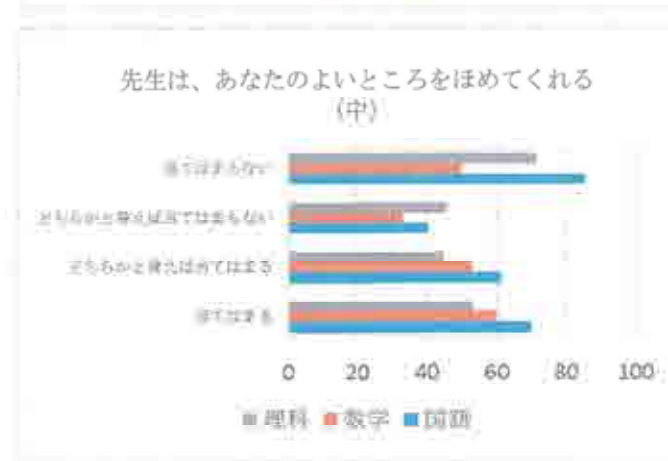
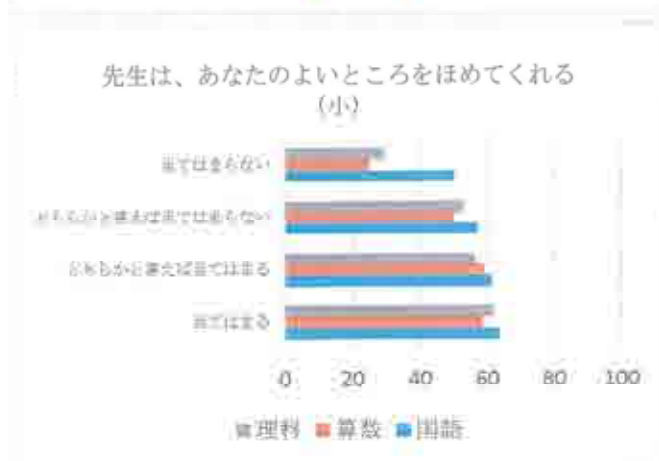
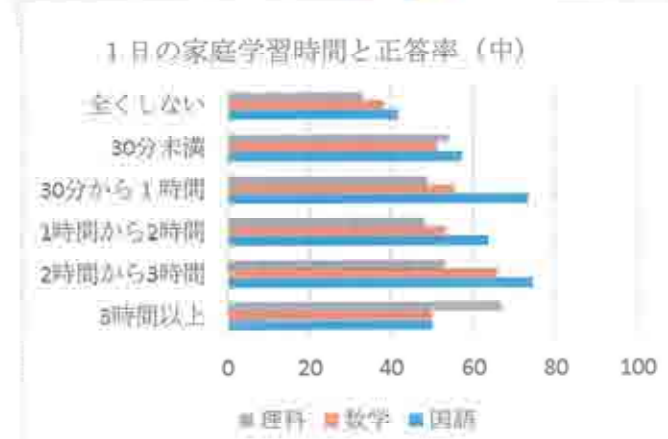
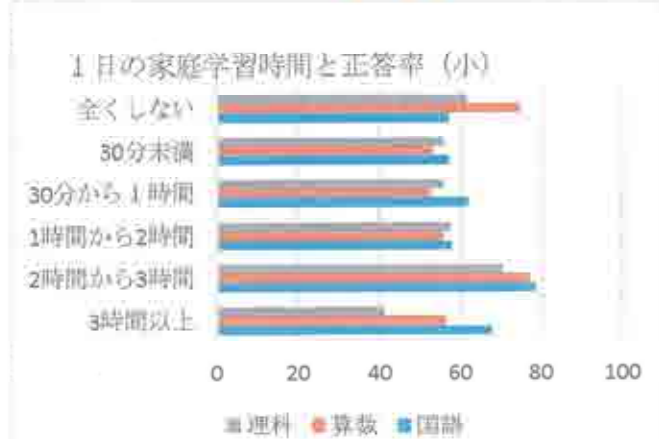
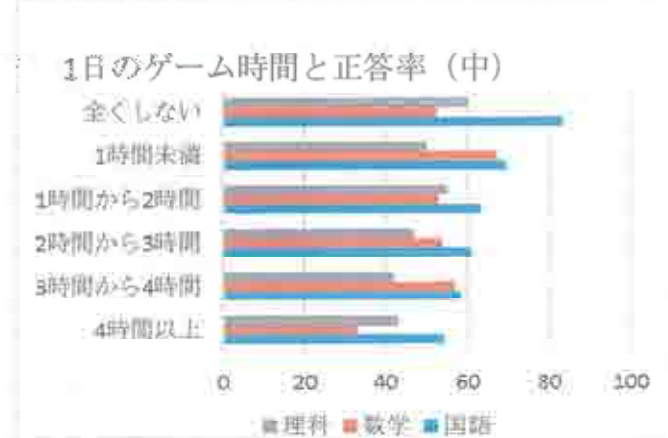
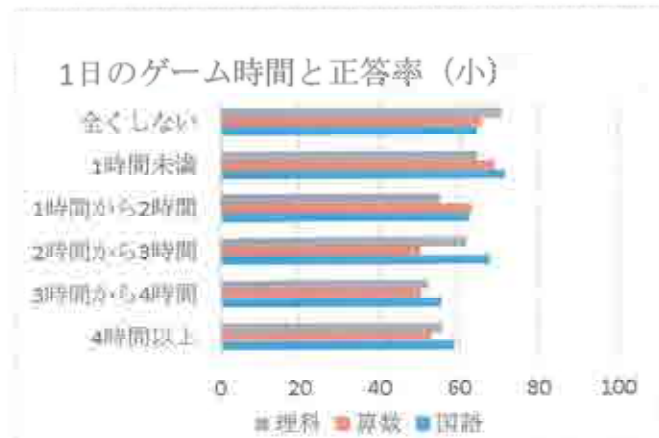
まず、ゲーム時間と正答率の関係ですが、ゲーム時間が増えるにつれ正答率が下がっていることが分かります。子供たちの楽しみでもあるゲームですが、ある程度のところで時間の制限が必要であることがデータから推測できます。対して、家庭での学習時間については、必ずしも正答率と比例していないことが分かります。家庭学習については、時間的なことより、学習内容や学習の質が重要となっているのかもしれませんが、さすがに中学校で家庭学習を全くしないと答えた子供の正答率は上がっていません。小学校では家庭学習が差にならなかったとしても、中学校で家庭学習をする習慣が大事になってくることは間違いありません。小さいころから家庭学習を習慣づけていきましょう。

先生はあなたのよいところをほめてくれるという質問は、ほめてくれると答えた子供の方が正答率の高い傾向にあるようです。今回の質問は「先生」が対象でしたが、「家の人」「地域の人」など主語が変わっても大事な視点なのかもしれません。

「地域の行事に参加している」という質問に対し、当てはまる、どちらかと言えば当てはまると答える子供の割合が高いことは、西伊豆町の特徴ですが、この質問でも正答率との関係が見られました。地域の行事に参加している子供の方が正答率の高い傾向にあるようです。地域の行事への参加は家庭の声掛けもあるか

と思いますが、子供の自主的な活動といえます。自分から参加する主体性のある子供が、学習でも主体性を発揮していると考えられるのではないのでしょうか。

最後のグラフは、各教科が好きと答える子供とその教科の正答率を表したものです。小学校については、理科が好きと答えた子供と正答率が比例していますが、国語と算数は好きとか嫌いがそのまま正答率に直結しているとは言えない結果になっています。これが中学校になると、正答率との関連性がより強くなっていきます。中学生になると、できないが教科の好き嫌いにより結びついてくるということになります。小学生がその教科が好きと答える理由を把握し、中学校と共有していくことが、教科に対して苦手意識を作らないことにつながっていくのではないかと思います。



3 保護者・地域の皆様へ 【温かな支援と見守りをお願いします】

新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化は、学校現場にも大きな影響をもたらしました。加えて新しい学習指導要領の実施により、小中学校は大きな変化の時期を迎えています。ICT機器の有効活用により「個別最適な学び」と「協働的な学び」を組み合わせ、令和時代の新しい日本型学校教育時間の実現を目指していきます。

今回、調査対象となった小学校6年生と中学校3年生の保護者の皆様が子供だった時代と今の子供たちを取り巻く環境が大きく変わっています。保護者世代が子供だったころ、ICT環境がこんなに整備されるなんてことが予想できたでしょうか。そして、今の子供たちが向かっていく10年後、20年後の社会を、想像できるでしょうか。予測困難な時代を切り拓く子供たちに求められる力は何か、身に付けるべき力は何か、そのヒントが本調査にあると考えています。もちろん、昔も今も未来も変わらず大事な部分もあると思います。西伊豆町ならではの魅力を探り、「夢を育み、ふるさとを語れる」子供たちの育成を目指します。

地域の皆様には、日頃より各種の伝統行事の継承をはじめ、子供たちに多くの活動の場を提供していただいています。また、「総合的な学習の時間」を中心とした地域での体験学習、地域でのかかわりが、子供たちの成長の大きな支えになっています。子供たちは人とのかかわりのなかで心を豊かにし、認められることで責任感を育てていきます。今後も子供たちが地域の中で自分らしさを発揮し、よさをさらに伸ばしていくよう町全体で子供たちを励まし、見守っていきましょう。

賀茂小

教育目標 「自ら学び 共に輝く 賀茂小の子」
重点目標 「やってみよう 自分から」

回覧



～一人の継承くよび～
崎山 隆之氏 作

特色ある教育活動～「全校クラブ“達人に学ぶ”」から得られるもの～

校長 高橋 智子

前号の学校便りでも紹介しましたが、今月から新たな試みとして、「全校クラブ“達人に学ぶ”」を実施しています。今年度の取組のキーワードである「縦のつながり」の具現化を図る重点活動のひとつです。地域の方々に講師にお招きし、「さるっこを作ろう」「折り紙飛行機を飛ばそう」「お茶をたてよう」「光るどろ団子を作ろう」の4つの体験学習を設定し進めております。これまでは、年1回の実施で、4年生以上を対象に希望の講座を選択するという方法をとってきましたが、ここ数年来の児童数の減少に伴い、教育活動の見直しを図られる中、学校全体の交流の機会を効果的に設定しその方法を工夫していくことが、本年度、必要となりました。更には、児童相互のふれあいから豊かな人間関係の構築につなげていきたいという願いもあり、日本の古くからの伝統文化に触れる素晴らしさを味わえる貴重な機会ととらえ、全学年を対象に、縦割り班ごとに年4回実施し、全ての講座を体験できるような形にいたしました。

この活動の推進にあたり、地域の皆様には、多くのご支援とご協力をいただいております。子供たちは体験して学ぶ喜びを味わい、受け継がれてきた文化に触れることで、新たな世界が広がってきています。学年を越え、感動と充実した時間を共有できることは、特色ある教育活動として、本校の強みとなっていくことでしょう。



子供の声～感想から抜粋～

○「お茶をたてよう」

・初めてお茶を立ててみたけど、思ったよりうまくできました。お茶のことだけではなく、上ばきの整え方やお茶を飲むときやお菓子を食するときの挨拶の仕方ややり方なども、たくさん教えてもらえてよかったです。下級生のたてたお茶も飲んでみたけど、苦みと甘みがちょうどよくて飲みやすかったです。お茶だけでなく、お菓子も出してくれるからおもてなしがすごいなと思いました。 5年児童

○「さるっこを作ろう」

・下級生と話をすることが増えたとし、どうやってやるかわからないときには教えてあげることができました。「上手だね。」「ありがとう」の言葉が増えてよかったです。達人の方から、「どういうふうにするかが伝わってきたのか」「なぜ神社にさるっこをかざるのか」などを教えてもらい、知らなかったことが学べてよかったです。さるっこを作るのは初めてだったので、最初はなんてやって作るのだろうと思いました。やってみるとすごく楽しかったので、また、やってみたいと思いました。 6年児童

○「光るどろ団子を作ろう」

・達人がすごい速さできれいにどろ団子を作っていたので、すごいなと思いました。友達といっしょに作ることができて楽しかったです。また、やりたいです。 2年児童
・瓶でびかびかにするのが楽しかったです。どろ団子が反射してすごいなと思いました。 3年児童
・磨いていくときれいになっていくのがおもしろかったです。下級生にも教えられました。 4年児童

○「折り紙飛行機を飛ばそう」

・達人がすごかったです。飛行機をとばすときに、じょうずに飛ばすことができました。折り方がわからないときには、6年生が教えてくれたのでうれしかったです。 1年児童
・私が作った紙飛行機は、最初はあまり飛ばなかったけれど、羽の角度を調整してみると、まっすぐ飛んだので、少しずつ調整することが大切だと思いました。折り紙で飛行機を作るときは、1、2年生に教えながらやることでよかったです。折り方が分からなかったときには、達人の方がすぐ説明してくれたので、すぐに折ることができました。 6年児童

10月の行事予定

日	曜日	行事	給食
1	土	伊豆海認定こども園運動会	
2	日		
3	月		○
4	火	読書週間～21日 SC	○
5	水	給食費引落 リレー練習 読み聞かせ	○
6	木	全校クラブ14:50下校 SSW	○
7	金	読書週間委員会 歯の健康教室	○
8	土	土曜参観日(賀茂小まつり)	×
9	日		
10	月	スポーツの日	
11	火	代休	
12	水	集金日 リレー会 SG 6年ジオ学習	○
13	木	全校クラブ14:50下校 SSW	○
14	金	代表委員会 3年あおき見学	○
15	土		
16	日		
17	月	朝礼	○
18	火	読み聞かせ SC 弦楽四重奏鑑賞会(1～4年仁科小)	○
19	水		○
20	木	修学旅行 SSW	○
21	金	修学旅行	弁
22	土		
23	日		
24	月	全校音楽鑑賞会	○
25	火	4年社会科見学 1年交流 3・6年ガラス体験 5年ジオ学習	弁
26	水	SG	○
27	木	SSW	○
28	金		○
29	土		
30	日		
31	月		○

11月の行事予定

日	曜日	行事	給食
1	火	SC	○
2	水	SSW	○
3	木	文化の日	×
4	金	避難訓練(火災)	○
5	土	子供議会	
6	日		
7	月	朝礼 委員会 給食費引落	○
8	火	SC	○
9	水	全校遊び(昼) SG	○
10	木	集金日 SSW	○
11	金	全校14:15下校	○
12	土		
13	日		
14	月	代表委員会	○
15	火	5年社会科見学 6年ジオ交流 SC	弁
16	水		○
17	木	マラソン大会試走 SSW	○
18	金	マラソン大会試走予備	○
19	土		
20	日		
21	月		○
22	火	2年交流 6年ジオ予備 SC	弁
23	水	勤労感謝の日	×
24	木	SSW	○
25	金		○
26	土		
27	日		
28	月		○
29	火	マラソン大会 SC	○
30	水	マラソン大会予備 SG	○

☆ 10月8日(土)は参観日(賀茂小まつり)です。
詳細は「すぐーる」で配信済みです。
10月8日に実施できると、11日(火)は代休です。
コロナウィルス感染状況によって、変更になることもあります。
変更がある場合は、すぐーるで連絡いたします。

☆お知らせ☆

タブレット持ち帰り

現在、賀茂小学校でも先生方の積極的な取組から、タブレット端末を活用した授業が進められています。中でも、教師から資料を受け取ったり、自分で調べたもの、資料に書き込んだもの等を友達や教師に送り合ったりできる「ロイノート」を活用した授業に、どの先生も積極的に取り組んでいます。この新しい授業の中で子供たちのよさや可能性をどう引き出していこうか、職員室では熱く語られています。

また、どの教科も楽しみながら繰り返し学習ができるよう、西伊豆町では「ドリルパーク」を導入しました。何度でも似たような問題に挑戦し、すぐ答え合わせができるこの繰り返し学習は、プリント学習では味わえないよさです。

2学期始めに、タブレットの持ち帰りに関する同意書を、改めてとらせていただきました。家庭学習の充実はもとより、コロナ禍で欠席や閉鎖等が心配される中、Zoomを使用した授業にも取り組んでいく予定です。今後のタブレット持ち帰りについては西伊豆町からルールが出されています。ご確認ください。また、トラブル回避のため、無断で写真撮影をしない等、活用の際はご注意ください。あわせて、個人情報の保護から、児童写真のデータでの配布は行いません。ご理解ください。

「すぐる」の活用

誤配や渡し忘れを防ぐため、「すぐる」を活用した便りの送信を始めました。「すぐる」で添付配信するものは、参観日や放課後学習等の学校からの通知です。個人情報保護のため、写真が記載されているもの、学校だより、学級だより、保健だより、給食だより、回答が必要なもの等は今まで通り紙媒体での配付となります。



8・9月の賀茂小

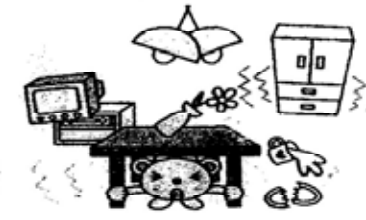
重点目標 ■ やってみよう自分から

南極クラス

2020年11月～2022年3月まで、南極で建物の整備を担当していた「久岡哲也さん」をお迎えし、南極での生活についてお話を聞きました。



防災講座・起震車体験・避難訓練



全校で起震車を体験することで「今、地震が起きたらどう行動するか」を考えました。震度7強を体験し、地震の怖さを改めて感じた子供たちから、この後たくさんの感想や意見が出されました。

また、子供たちには予告なしで地震の避難訓練も行いました。昼休み、運動場や教室、トイレ等にいる状態で避難の放送があったとき、どう行動するか。私たち教員も、子供たちの動きを観察し、全員が無事に避難するにはどうしたらいいのか考えながら訓練をしました。改めて、命の大切さを感じる教育活動となりました。

